

国際教養学部のディプロマ・ポリシーである「高度な思考力」を測定する方法として、本学が独自に開発した「クリティカル・シンキング・テスト (CT)」を活用している。2020 年度の CT テスト結果について報告する。

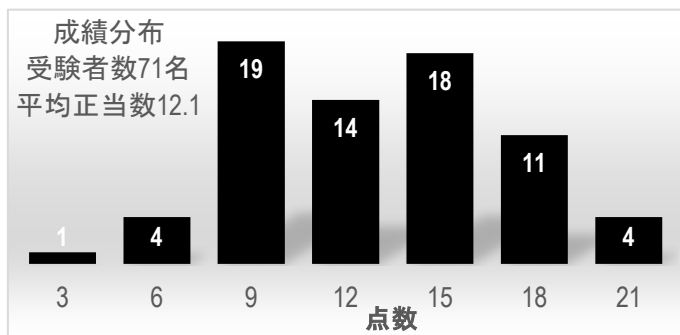
【方法】3 年生対象に、2020 年 12 月 10 日 (金)・15 日 (火) の Senior Thesis (W. ホール先生担当、受講者数 75 名) で実施した。英語で作成された問題用紙 (26 問) は紙媒体で配布し、学生は 4 つの選択肢から正解を選び、Google Form で解答した。問題用紙は終了後回収をした。参加数 71 名、実施率 94.7% (=71/75) であった。

【解析】1) 表 1 に、平均正答数を過去の結果と一緒に示す。今回の成績 (12.1 点/26 点満点) は、2018 年の 1 年次の成績 9.8 から 2.3 点上昇している。昨年、一昨年の 3 年生の成績と比較すると、1.0 点低くなった。

表 1. 年度ごとの平均正答数の推移 (26 点満点)

学年	2016	2017	2018	2019	2020 年	平均
1 年	10.2	10.2	9.8	9.2	—	9.9
3 年	14.3	12.4	13.1	13.1	<b>12.1</b>	13.0
4 年	12.6	16.7	13.8	12.5	—	13.9

- 1) 下図に示すクラスの成績分布は二極化しており、9 点 (正答率 35%) と 15 点 (58%) の二箇所にピークが表れた。



- 2) 表 2 に、問題 1~26 番と CT 要素との関係および各問の正答率を示す。正答率は、「①関連情報の見極め」で高く、「⑦推論」で低くなった (表 3)。

表 2. 各質問の正答率

質問	CT 要素	正答数
1 Eggplant	④	45
2 Driving	⑥	13
3 Fossil fuel	⑤	46
4 New heaven	①	46
5 Influenza	②	22
6 Sick school	③	31
7 Aquarium	⑦	16
8 Accident	②	38
9 Noedwell	⑤	28
10 Hockey	⑦	44
11 Europa	②	45
12 Baseball	⑦	23
13 Tom&Ken	⑤	42
14 Tom&Ken	⑥	<b>58</b>
15 Mushroom	③	49
16 Mushroom	③	31
17 Symotims	④	48
18 Symotims	④	20
19 Symotims	③	9
20 Order	⑦	33
21 Order	①	45
22 Order	①	25
23 Kangaroo	②	29
24 Kangaroo	⑥	30
25 Kangaroo	⑤	25
26 Kangaroo	⑥	21
合計		862

表 3. CT 要素毎の正答率

CT 要素	問題数	正答数	正答率
①関連情報の見極め	3	116	<b>54.5%</b>
②情報の信頼性の評価	4	134	47.2%
③手法と攻略法	4	120	42.3%
④分類的思考法	3	113	53.1%
⑤見通しを持った思考法	4	141	49.6%
⑥適用と評価	4	122	43.0%
⑦推論	4	116	40.8%